

4 地区交通体系の再編

地区交通体系

「交通手段やヒトの回遊の再編」

再編方針

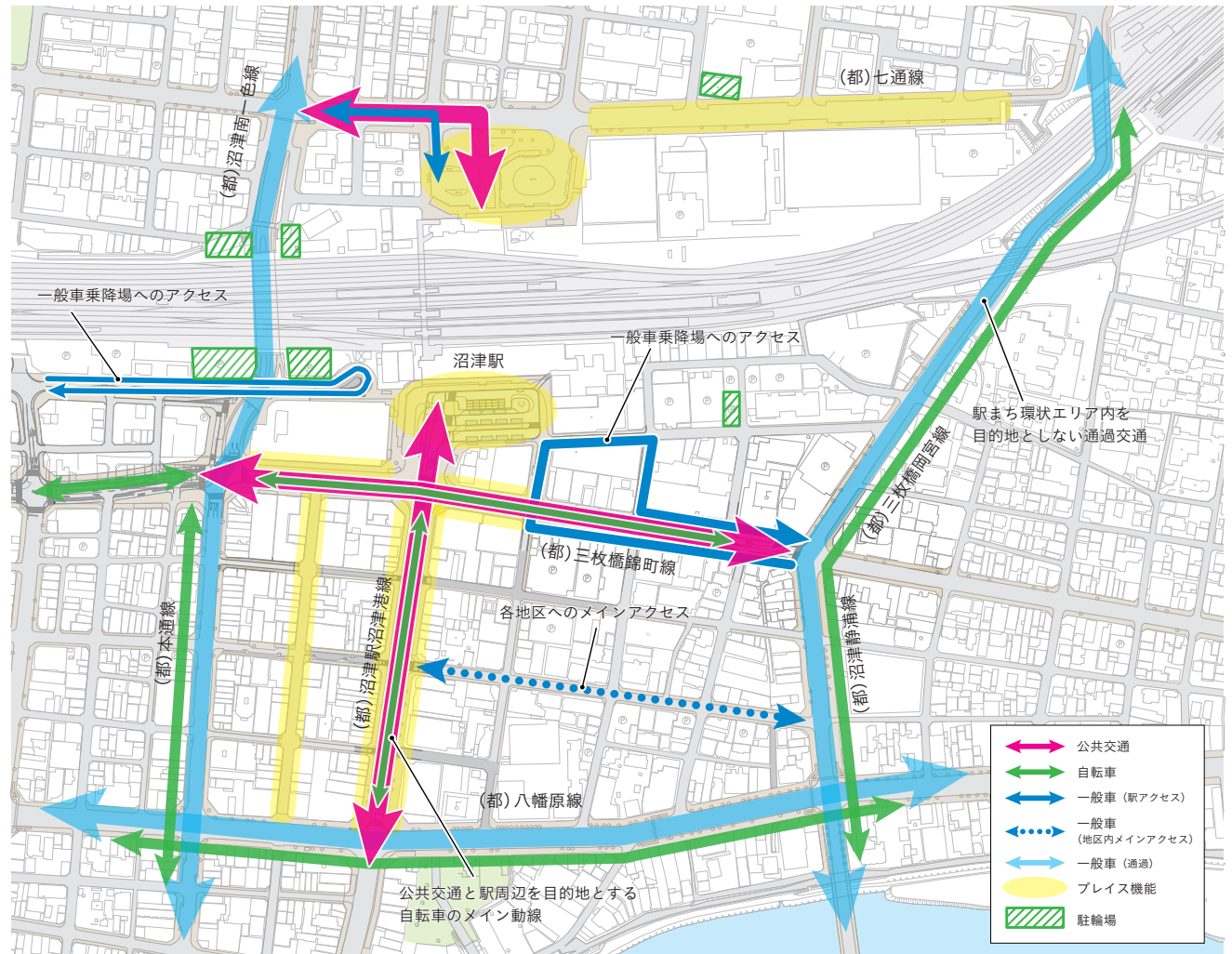
“歩き”を最優先に、安全や使いやすさを意識した交通体系へ

- ・公共交通や車などからの乗り換えを意識した整備・交通の誘導
- ・安全な歩行環境と快適な自転車走行環境の両立
- ・荷捌き動線の整理や交通規制による歩きやすい環境づくり

地区交通体系の再編に当たっては、再編方針や空間タイプとして整理した各道路の機能の評価・目指す方向性を意識し、まちづくりシナリオで目指す歩行者回遊動線や地区交通の動線の実現に向けて必要な施策に取り組むことで、駅まち環状エリア内におけるヒトの移動の快適性を向上させていきます。

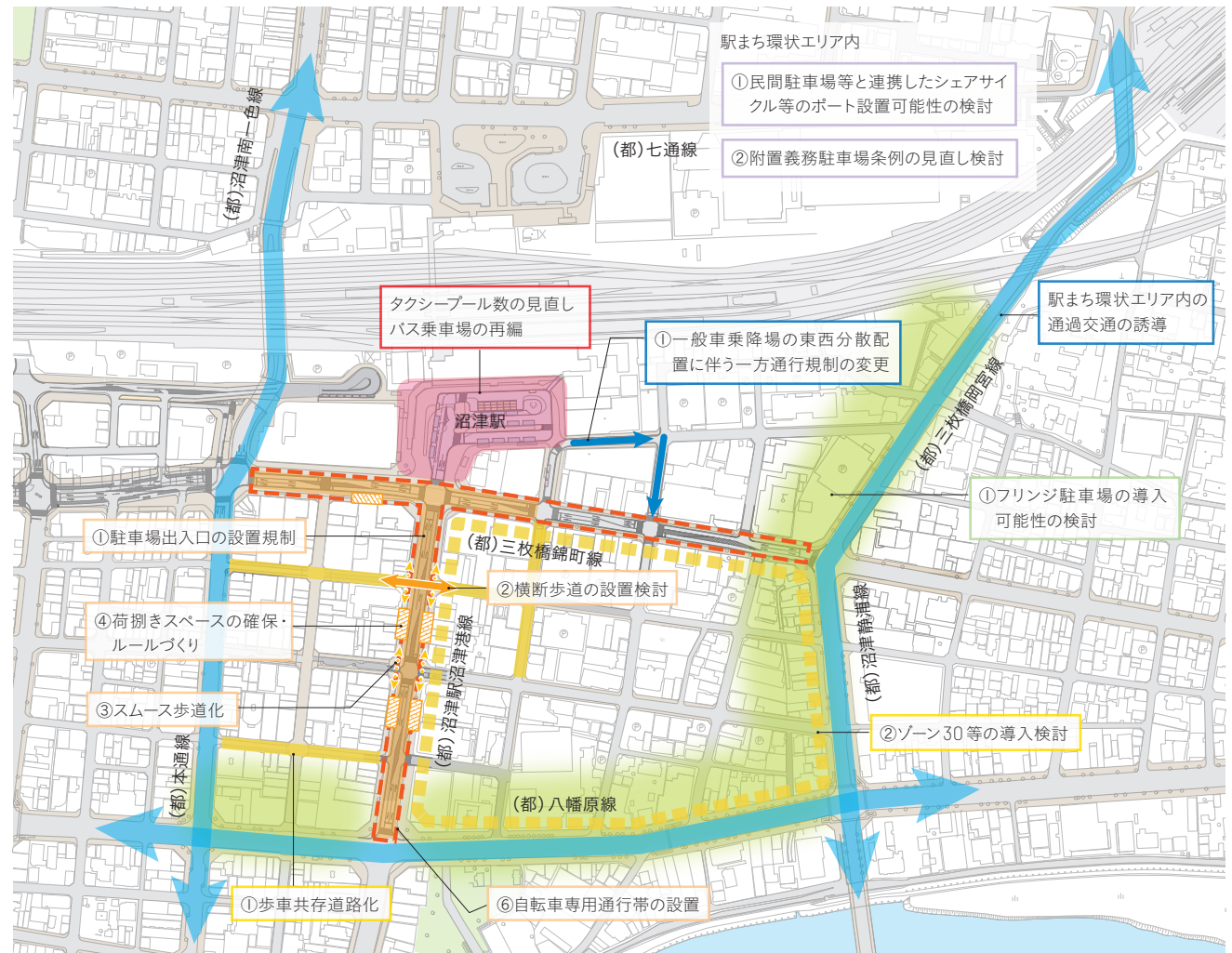
地区交通の動線図

- ・駅まち環状エリア内を目的地としない通過交通については、駅まち環状に受け持たせます。
- ・駅前街路は公共交通と駅周辺を目的地とする自転車のメイン動線とし、安全な歩行環境確保との両立を意識します。
- ・一般車の駅まち環状エリア内へのアクセスは、東西方向からをメイン動線とします。



地区交通施策の方針図

- ・中期で目指す歩行者回遊動線や地区交通の動線を創出するために必要となる地区交通施策の方針を右に示します。
- ・各施策の内容、考え方等は次頁以降に示しますが、公共空間再編整備計画策定以降、この方針に基づき関係者とともに検討・協議を重ねながら、施策の具体的な内容を決定します。



地区交通施策の取組内容

■シンボルロード(駅前街路)



① 駐車場出入口の設置規制

・拡張した歩行者空間の活用等によりプレイス機能を拡充する駅前街路について、歩行者と自動車の錯綜を防ぎ、まちなみやにぎわいの連続性を確保するため、都市再生特別措置法に基づく制度活用等による駐車場出入口の設置規制を検討します。

② 横断歩道の設置検討

・(都)沼津駅沼津港線沿道と仲見世商店街周辺の連携により生まれる東西方向へのつながりを東側エリアへと波及させるため、(都)沼津駅沼津港線への新たな横断歩道の設置を検討します。

(参考) 全国の実施事例 松本市

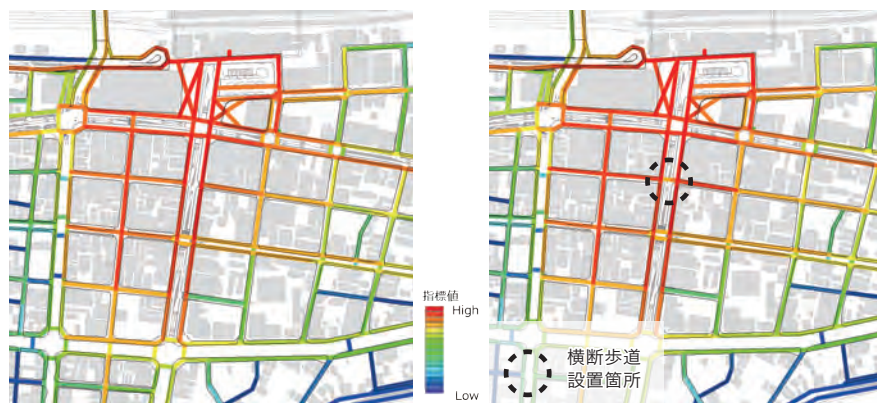
・住民が自主的に定めたまちづくりのルールを推進するため、駐車場配置適正化区域の設定による届出制度を活用し、多くの来街者が回遊する通り等において、出入口設置の規制を実施しています。



<出入口の設置を規制する道路> 出典:松本市

(参考) 横断歩道を設置した場合の効果検証(回遊ポテンシャル指標)

・(都)沼津駅沼津港線に横断歩道を新たに設置することで、東西方向のつながりが良くなり、特に東側エリアのポテンシャルの向上が見られます。
・交通処理上クリアしなくてはならない課題はありますが、空間特性上は一定の効果が見られると考えられます。

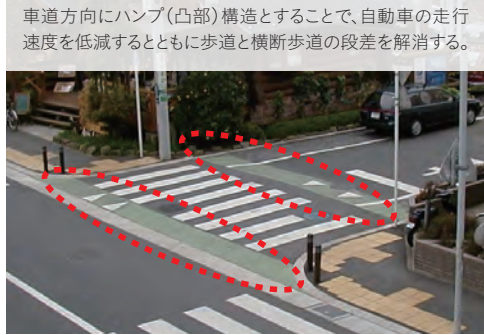


<横断歩道を設置しない場合>

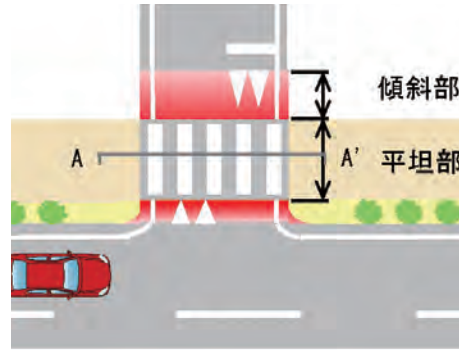
<横断歩道を設置した場合の指標>

③スムーズ歩道化

・仲見世商店街と並び歩行者回遊の主動線となる駅前街路を誰もが安全・安心に歩けるようにするため、また、生活道路を出入りする車両の速度抑制を図るため、駅前街路と生活道路の交差部について、ユニバーサルデザインにも配慮しつつ、スムーズ歩道化を検討します。



車道方向にハンプ(凸部)構造とすることで、自動車の走行速度を低減するとともに歩道と横断歩道の段差を解消する。



<スムーズ歩道化のイメージ>出典:国土交通省

④荷捌きスペースの確保・ルールづくり

・駅前街路の車線減により、路肩での荷捌きは円滑な交通処理の妨げになるため、実態を踏まえて歩道切り込みの荷捌きスペースの確保を検討します。その際、一般車の停車を防ぐための交通規制や設え等についても検討します。

・街区内の荷捌きについては、商業者へのヒアリングなども踏まえ、必要に応じた共同荷捌き場としての駐車場の活用や、荷捌きスペースの運用など、ルールづくりを検討します。



<荷捌きスペースのイメージ>

(参考) 全国の実践事例 東京都

・交通渋滞の一因となる路上での荷捌きを解消するため、コインパーキングを活用して荷捌きスペースを確保する取組を実施しています。

・平成15年度から試行を重ね、駐車場事業者の協力を得て、575箇所の駐車場(令和3年3月)をどの駐車マスでも荷捌き可能な「荷さばき可能駐車場」として指定し、物流事業者は荷捌き可能駐車場から横持ちで荷捌きを行っています。

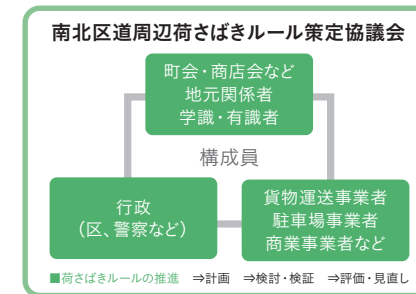


<荷捌き対策協力駐車場> 出典:東京都

(参考) 全国の実践事例 南北区道周辺(豊島区)

・安全で快適な歩行者空間の創出と荷捌き車両への対応を両立するため、地域の荷捌きルールを策定しました。(南北区道周辺荷捌きルール)

・策定に当たっては、当該地域の荷捌きに関わる多様な主体が参画した協議会を設立し、議論を実施しています。



<荷さばきルール策定協議会>

荷さばきルール	荷さばきルールの概要
ルール1-1 荷さばきの時間帯・曜日に関するルール	・車両通行禁止規制の時間帯に車両で進入して荷さばきを行わない ・歩行者の多い土曜日・日曜日の12~19時を避けて荷さばきを実施する ・荷主側で荷受けの時間を指定することで、歩行者が少ない時間帯での荷さばきを推進する ・荷主は、できる限り歩行者が少ない平日に配達日を設定する
ルール1-2 荷さばきの所要時間に関するルール	・できる限り短時間で荷さばきに努める ・荷受人は商品の受領に協力する ・配送者に商品の陳列や整理などの荷さばき以外の作業を行わせない ・荷主は可能なものはなるべくまとめて注文し、集配送の回数を減らす
ルール2-1 荷さばき時の駐車場所に関するルール	・駐停車禁止場所など、歩行者やまちの活動に支障を与える場所での荷さばきを行わない ・安全に荷さばきができる場所(時間貸し駐車場やパーキング・メーカー、共同荷さばきスペースなど)で荷さばきを行う ・推奨する駐車場の優先順位 ①時間貸し駐車場や共同荷さばきスペースなどの路外 ②パーキング・メーカー ・機待ち時は歩行者に注意し、安全な荷さばきに努める ・荷主からも運送事業者やドライバーに適切な場所で荷さばきを行うよう働きかけを行う
ルール2-2 民間の駐車場を利用する際のルール	・各駐車場の駐車場管理規定等のルールを遵守して適切に利用する
ルール2-3 共同荷さばきスペースを利用する際のルール	・共同荷さばきスペースの利用ルールを遵守して適切に利用する

<荷捌きルールの概要> 出典:豊島区

⑤ バス乗降場の確保・バス停の集約検討

- ・駅前街路の車線減により、車道上でのバスの乗降は円滑な交通処理の妨げになるため、(都)沼津駅沼津港線の大手町バス停において歩道切り込みの乗降場の確保を検討します。
- ・一方で、歩道切り込みにより乗降場を確保することで、歩行空間・利活用空間が縮小することになるため、事業者や方面によって異なる乗降場の集約等によるバス停位置の変更についても併せて検討します。
- ・乗降場の整備に当たっては、バス停へのIoT技術の導入可能性なども併せて検討します。



<大手町バス停の現状> 出典:沼津市地域公共交通計画

⑥ 自転車専用通行帯の設置

- ・安全で充実した歩行者空間の確保、サイクルツーリズム促進等の観点から自転車専用通行帯を設置します。
- ・通行帯の設置位置等の詳細な整備手法については、次世代モビリティの導入や、実証実験を重ねている自動運転の実装化等の技術革新の動向を注視しつつ、荷捌きスペースやバス乗降場を設けた際のこれらの車両や利用者と、自転車との錯綜に対する安全の確保等の観点にも十分留意し、関係機関と協議・調整を行いながら決定していきます。
- ・通行帯の表示等の設えは、まちなみ景観に配慮した色・形態とします。

(参考) 全国の実績事例 熊本駅白川口駅前広場(熊本市)

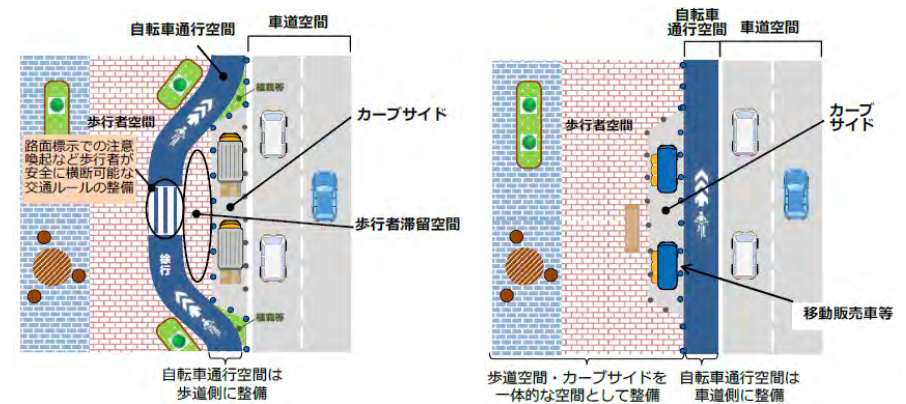
- ・駅前広場の整備と併せて、IoT技術を搭載したスマートバス停を導入しています。
- ・バスの時刻表・運行情報のほか、広告や案内、緊急情報などを表示することができ、利用者の利便性向上に寄与することが期待されます。



<熊本駅白川口駅前広場> 出典:熊本市

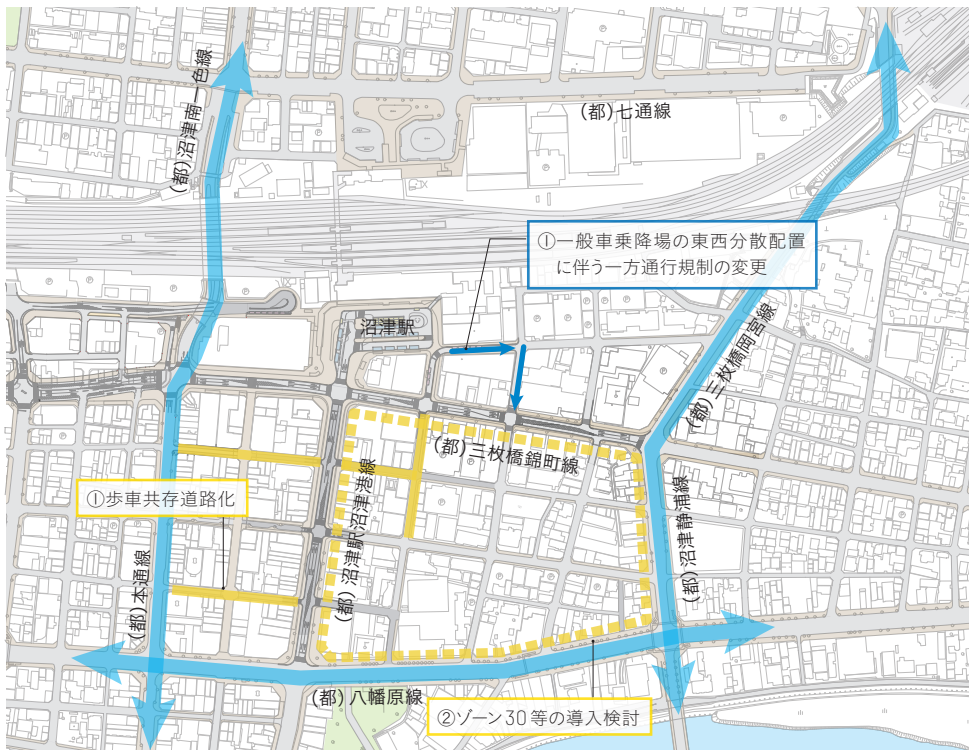
(参考) 全国の実績事例 東京都

- ・自動運転社会を見据えた人中心の歩きやすいまちづくりなどの実現に向けて、「自動運転社会を見据えた都市づくりの在り方」を策定しました。
- ・自動運転社会の普及やカーブサイド(道路空間の路肩側)の活用を踏まえて、自転車通行空間のあり方についても検討がされています。



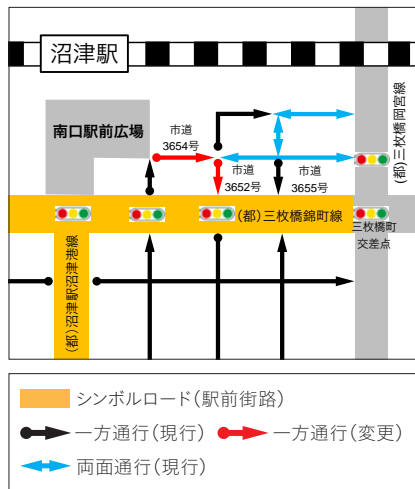
<自転車通行空間の整備イメージ> 出典:東京都

■生活道路A/B



①一般車乗降場の東西分散配置に伴う一方通行規制の変更

- ・南口駅前広場東側への一般車乗降場の設置に伴い、乗降場利用者の駅までの安心・安全な歩行動線を確保するため、市道3654号の一方通行規制を変更します。
- ・乗降場から(都)三枚橋町線へのアクセスを市道3655号からとすると、合流地点から三枚橋町交差点までの距離が十分に確保できないことから、一方通行規制を変更し、市道3652号からのアクセスとします。



<一方通行規則の変更>

①歩車共存道路化

- ・歩行者の回遊動線となる道路については、限られた道路幅員の中で、歩道と車道を分離せず、自動車速度を抑制する工夫を施すことで、歩行者と自動車が共存できる空間を創出します。

(参考) 全国の実例
旧東海通品川宿(品川区)

- ・地区における回遊性の向上を図るため、面的な景観整備と併せて、歩行環境の改善を実施しました。
- ・車線幅員を5mから3mへ削減し、路側帯(歩行空間)を拡大するとともに、車線部と路側帯の舗装パターンを分けることで、歩車共存した道路を実現しています。

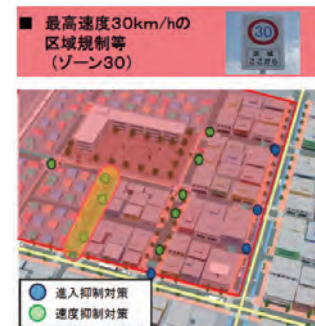


<整備前後の比較> 出典:国土交通省

②ゾーン30等の導入検討

- ・街区において、歩行者が安全・安心な回遊を行うことができるよう、自動車の速度規制と主要な歩行者動線上におけるハンプの設置など、物理的デバイスの設置を適切に組み合わせた総合的な対策を検討します。
- ・(都)沼津駅沼津港線西側街区においては、仲見世商店街が縦断していることもあり、比較的自動車速度の抑制が図られていることから、特に東側街区における導入を検討します。

【警察による交通規制】



【道路管理者による物理的デバイスの設置】



<総合的な対策のイメージ> 出典:国土交通省

■地区全体に関する取組



①フレッジ駐車場の導入可能性の検討

- ・駅まち環状エリア内の自動車交通を抑制するため、エリア外縁部(フレッジ)への駐車を促す方を検討します。
- ・駅まち環状からアクセスしやすく、歩行者の回遊があまり見られないゾーンに導入することで、自動車利用者の行動の起点が変わり、回遊エリアが広がることも期待されます。

(参考) 全国取組 福岡市

- ・都心中心部への自動車流入を抑制するため、都心周辺部の駐車場でマイカーを受け止め、公共交通等による都心中心部への来訪を促す実証実験を実施しています。
- ・フレッジ駐車場を利用し、天神へ行った人に、駐車場の割引券及び帰りのバス乗車券を配付することで、利用促進を図っています。



<実施概要> 出典:福岡市

①民間駐車場等と連携したシェアサイクル等のポート設置可能性の検討

- ・車中心からヒト中心の空間へ転換を図るうえでスマートシティの取組として、新たな移動手段の確保により、エリア内や観光拠点である沼津港への移動利便性に資するため、マイクロモビリティの導入やシェアサイクルなどのポート設置を検討します。
- ・特にフレッジ駐車場の導入や駐車場の交通連携拠点化も見据え、市内の渋滞緩和やCO2削減に寄与するとともに、駐車場からのシームレスな乗り換えによる二次交通としての活用も期待できることから、民間駐車場等と連携した設置可能性を検討します。



<民間駐車場への設置イメージ> 出典:国土交通省

②附置義務駐車場条例の見直し検討

- ・附置義務駐車場条例により一定規模以上の建築物には、駐車施設の附置が義務付けられており、駐車場不足の解消による道路交通の円滑化に寄与してきました。
- ・しかし、近年は暫定的な土地利用などにより、まちなかの駐車場の数が増加し、エリア単位ではある程度需給量に余裕が見られる状況であることから、条例自体の必要性の検証も含め、附置義務駐車場条例の見直しを検討します。

(参考) 沼津版スマートシティ

(「X-Tech NUMAZU」)の取組

「ちょっと未来」を先取りしたぬまづと「私らしい」を実現するまちを将来都市像に、鉄道高架事業を始めとするまちの基盤整備の進展と併せながら、テクノロジーの活用によりまちなかにおいて多様なサービスの創出や既存サービスの革新を図り、市民生活の質(QOL)の向上を図る、沼津版スマートシティの取組(「X-Tech NUMAZU」)が令和3年6月にスタートしました。

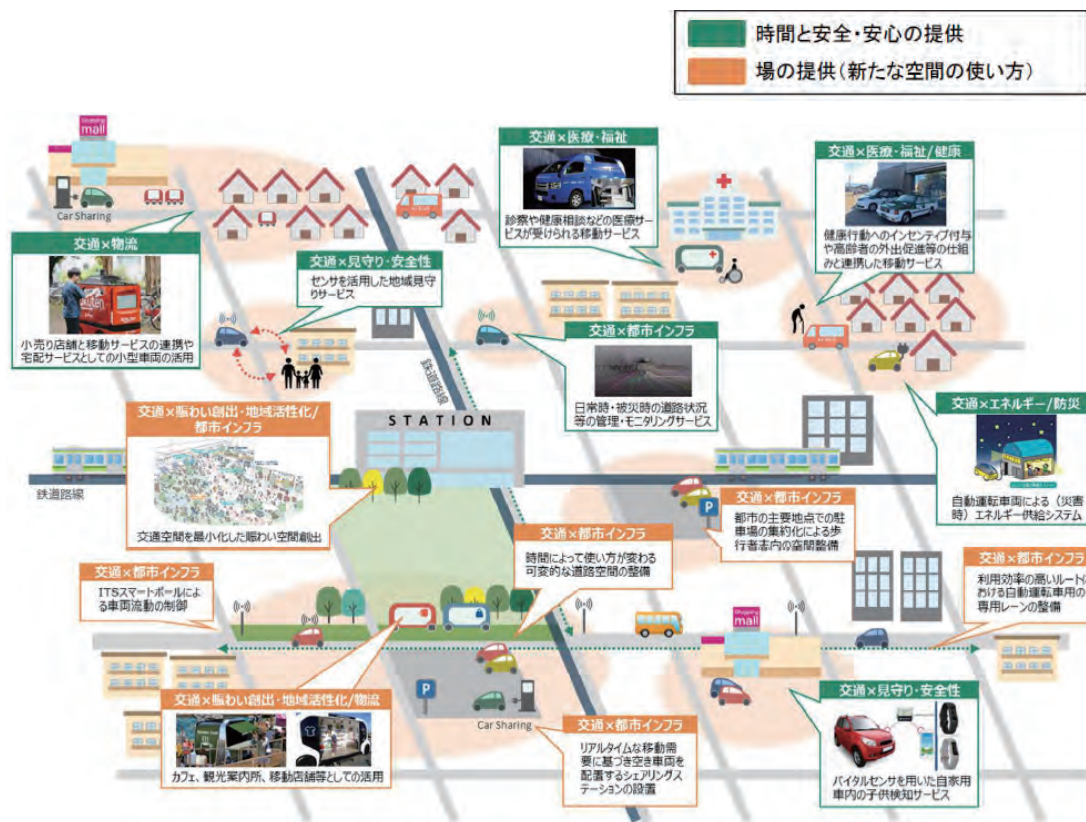
産・官・学の連携による主要な取組分野として「モビリティ」や「環境・エネルギー」などが掲げられており、モビリティ分野においては、ヒトの移動の最適化の観点から、電車・バス・タクシー・シェアサイクルなどの移動手段の情報提供の一元化、駐車場の様々な交通手段との連携強化やICTを活用した機能の導入、静岡県と連携した沼津駅ー沼津港間の自動運転の実装化などに取り組んでいきます。

環境・エネルギー分野においては、温室効果ガスの排出削減に向けた省エネ・再生エネルギーの利活用を推進していきますが、「公共空間再編整備計画」における整備の推進に当たっては、環境負荷の低減への貢献についても意識しながら取組を進めていきます。



(参考) 都市における自動運転や関連技術の活用

「スマートシティの実現に向けて【中間とりまとめ】(平成30年8月国土交通省都市局)」において、スマートシティが実現する社会の生活者の視点として、「生活の質を高める余剰時間」、「経験の充実を図る場所としての都市」が掲げられ、自動運転やその関連技術を通して都市の中において生活の質(QOL)を高めるサービス、新たな場の提供の検討が進められています。



＜都市における自動運転や関連技術を用いたサービスメニュー例＞ 出典：国土交通省

